



総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【3月号】

クラブ名	ダンスうんどう山口（準備中）	訪問日	2月24日	訪問者	宮田 大樹
訪問詳細	<p>今回は、周南市熊毛地区で活動しているダンスうんどう山口主催の「ダンスうんどう多世代間交流会」の視察に行ってきました。「ダンスうんどう」とは、音楽に合わせて全身を動かす体操で、子どもから高齢者まで楽しむことができます。実際に今回の参加者約30名のうち3名の子どもが参加しており、大人と同じようにリズムを取りながら楽しく運動していました。立位での運動や座位での運動などのバリエーションがあり、串いすの方も取り組めるものだと感じました。今回は、NPO法人日本ダンスうんどう協会副理事長で北九州在住の田原幸一氏を講師に招きイベントを開催しました。参加者は、うまくできた時には喜び、失敗しても笑いが起こるような笑顔の絶えないイベントで、有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。</p> <p>「ダンスうんどう山口」は、今年度4月から準備中クラブとして設立に向けた準備活動を行っています。来年度から、ダンスうんどう教室を定期的で開催する予定にしております、この活動を通して地域に根差したクラブへ発展していくことを期待しています。</p>				

クラブ名	至誠館クラブ（準備中）	訪問日	3月9日	訪問者	和田 康夫
訪問詳細	<p>今回は、準備中クラブの至誠館クラブで開催された体験イベント「つばえるキッズ」の様子を紹介します。</p> <p>「つばえる」とは、「遊ぶ」「じゃれる」という意味の山口弁です。この「つばえるキッズ」は、「夢中」「チャレンジ」「思いやり」の3つの柱を基本としており、運動が好きな子どもを増やしたいという思いから考えられたそうです。</p> <p>体験会は、3月9日（金）と10日（土）の2日間で行われ、合計30人の幼児が参加しました。始めに指導者の動きをまねて、熊になったりクモになったりした後、音楽に合わせた体操をしました。後半は、マットと鉄棒遊びが行われました。子どもたちが一所懸命運動している姿に、参観している保護者の皆さんから大きな拍手が送られ、ますます自信をもってチャレンジしていました。</p> <p>至誠館クラブは、萩市にある至誠館大学を拠点としており、施設や用具など恵まれた環境の中で、地域と一緒に総合型クラブとしての方向性を模索しています。来年度からは、「つばえるキッズ」を年間40回予定しており、この他、地域住民の運営参加による種目も随時増やしていこうとしています。</p>				

☆レッツ！オリ・パラ☆



2020年
東京オリンピックまで

850日

※平成30年 3月27日現在

セーリングは、第2回のパリ大会から実施され、アトランタ大会までは「ヨット」の呼称、シドニー大会から現在の「セーリング」という競技名となりました。

セーリングは、海というスケールの大きな中、天候、風の状況、潮流の影響、波の状態など、自然環境によって大きく試合展開を左右される競技です。全員で一斉にスタートする試合方式のダイナミックさも魅力で、最も速いスピードでベストな位置からスタートすると、その後のレース展開は有利になります。他艇との位置関係やコース取り、自分の艇のコンディションなど、刻々と変わるさまざまな条件を計算して臨機応変に戦術を組み立てられる頭脳と実行に移す技術が必要となります。

今年の愛媛国体では、光高校の鈴木義弘選手がレーザーラジアル級で優勝し、見事3連覇を達成しました。また、光高校の尾道佳諭選手・三浦匠選手が420級で2位、光高校出身で鹿屋体育大学の渡邊純菜選手が、ウィンドサーフィン級で4位という成績をおさめています。

山口県体育協会では、スポーツ能力に優れた児童を早期に発掘し、山口県から世界へ羽ばたくトップアスリートの人材育成を目標とする、YAMAGUCHIジュニアアスリートアカデミーを実施しています。「レスリング」「セーリング」「フェンシング」の3競技に特化したプログラムを展開することで、世界でも活躍している選手が出ています。